

YOXO

よ

く

ぞ

YOKOHAMA CROSS OVER

X-VISION

YOXO

よ く ぞ
YOKOHAMA CROSS OVER

X-VISION



横浜未来機構 YOXOクロスビジョン

みらいの希望は 創造できる。

横浜は、挑戦者を応援する。
なぜなら私たちは信じているからだ。
理想を追求し、領域や固定観念を越えて、
変化を生み出す挑戦こそが、
みらいの希望をつくることを。

変化の激しい現在だからこそ、
領域を越えた融合(クロスオーバー)によって
次世代のこどもたちのために、地球と社会の葛藤を乗り越え、
持続可能な希望あるみらいを実現しよう。

YOXO(よくぞ!)と挑戦者を称えあう、創造的な横浜へ。



イノベーション都市横浜の 全体像を統合する「YOXO(よくぞ)」

横浜では現在までに様々なイノベーション都市につながる取組が展開されてきました。
これは民間・行政の垣根を越えて共に進めてきた取組です。

様々なみなさまが横浜をフィールドに

イノベーションを生み出す活動の合言葉、

ムーブメント、そしてエコシステムを表すワードが“YOXO(よくぞ)”です。

YOXOの目指す持続的な循環

社会のあらゆる主体が領域を越境して行う、新結合こそがイノベーションを生み出します。YOXOは「技術・アイデア」と「地域のニーズ・課題」のクロスオーバーを促進します。こうした活動から、都市としての成熟、次世代の育成に至るまで手法から活用まで、あらゆる面でイノベーション創出に向き合う都市を目指します。

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1 人材同志の緩やかな交流の場 | 6 スマートで持続的な街づくり |
| 2 そこから生み出されるアイデアを試作するサポート | 7 街の利便性の向上、活性化 |
| 3 試作からビジネス化に向けた検証、後押し | 8 ビジネスエリアとしてのクリエイティビティ |
| 4 新製品、サービスの実証実験 | 9 イノベーション・ムーブメントやこどもなど |
| 5 新製品、サービスの社会実装 | 次世代への波及 |

YOXOを実現するためのX-VISION



みらいを体験できる都市を生み出す

みらい体験都市

横浜は、もっと「みらい」を提供できるはずです。実証実験や他の都市に先駆けた実装を加速させ「みらい体験」を得られる街をつくっていききたい。企業にフィールドを開放し、生活者や来街者たちのウェルビーイングが向上するサービスをいち早く受けられる、みらい体験都市を目指します。

FUTURE IDEA

- 1-1 生活者目線の「みらい体験」を提供する
- 1-2 街の将来を市民と共に考え、イノベーションを社会実装する
- 1-3 特区や規制緩和を積極的に活用・提案する



「変化への挑戦者」を徹底的に応援する街になる

挑戦者応援都市

横浜は新しい挑戦者が集い常に発展してきた都市です。夢に挑戦する人をいつも応援し、創造的な子どもたちを育てやすい街でありたい。YOXO（よくぞ）という褒め言葉の名前にもその思いを込めています。サンフランシスコやベルリンなど、創造都市は同時にベンチャーやスタートアップの聖地でもあります。横浜だからこそできる創造的経済の都市像を目指します。

FUTURE IDEA

- 2-1 創造的な人材の成長を街ぐるみでサポートする
- 2-2 新しい価値を作りたい人の創造性を引き出す
- 2-3 働き方、発信、投資など挑戦者の環境を応援する



業種・領域・国境などを「越境」しやすい街になる

領域越境都市

様々な産業の日本発祥の地であり、スタートアップやクリエイターが集まる関内エリア、グローバル企業のR&D拠点が集積するみなとみらいエリアを始め、横浜という街全体に多様な才能が集まっています。大企業・スタートアップ・クリエイター・教育機関、公共などの人材が、地域から海外まで、領域を超えてクロスオーバーする都市をつくります。

FUTURE IDEA

- 3-1 業種や文・理などの領域の越境機会を提供する
- 3-2 業種・領域を超えた情報共有や共創を推進する
- 3-3 国内外都市や海外ともシームレスにつながる



YOXO

よ

く

ぞ

YOKOHAMA CROSS OVER

X-VISION

10 ACTIONS

ver.01

(2021～当初の基盤構築活動)

YOXOを実現するためのX-VISION



みらいを体験できる都市を生み出す

みらい体験都市

横浜は、もっと「みらい」を提供できるはずです。実証実験や他の都市に先駆けた実装を加速させ「みらい体験」を得られる街をつくっていききたい。企業にフィールドを開放し、生活者や来街者たちのウェルビーイングが向上するサービスをいち早く受けられる、みらい体験都市を目指します。

FUTURE IDEA

- 1-1 生活者目線の「みらい体験」を提供する
- 1-2 街の将来を市民と共に考え、イノベーションを社会実装する
- 1-3 特区や規制緩和を積極的に活用・提案する



「変化への挑戦者」を徹底的に応援する街になる

挑戦者応援都市

横浜は新しい挑戦者が集い常に発展してきた都市です。夢に挑戦する人をいつも応援し、創造的な子どもたちを育てやすい街でありたい。YOXO（よくぞ）という褒め言葉の名前にもその思いを込めています。サンフランシスコやベルリンなど、創造都市は同時にベンチャーやスタートアップの聖地でもあります。横浜だからこそできる創造的経済の都市像を目指します。

FUTURE IDEA

- 2-1 創造的な人材の成長を街ぐるみでサポートする
- 2-2 新しい価値を作りたい人の創造性を引き出す
- 2-3 働き方、発信、投資など挑戦者の環境を応援する



業種・領域・国境などを「越境」しやすい街になる

領域越境都市

様々な産業の日本発祥の地であり、スタートアップやクリエイターが集まる関内エリア、グローバル企業のR&D拠点が集積するみなとみらいエリアを始め、横浜という街全体に多様な才能が集まっています。大企業・スタートアップ・クリエイター・教育機関、公共などの人材が、地域から海外まで、領域を超えてクロスオーバーする都市をつくります。

FUTURE IDEA

- 3-1 業種や文・理などの領域の越境機会を提供する
- 3-2 業種・領域を超えた情報共有や共創を推進する
- 3-3 国内外都市や海外ともシームレスにつながる





みらいを体験できる都市を生み出す

みらい体験都市

横浜は、もっと「みらい」を提供できるはずです。実証実験や他の都市に先駆けた実装を加速させ「みらい体験」を得られる街をつくっていききたい。企業にフィールドを開放し、住民たちのウェルビーイングが向上するサービスをいち早く受けられる、みらい体験都市を目指します。

FUTURE IDEA

- 1-1 生活者目線の「みらい体験」を提供する
- 1-2 街の将来を市民と共に考え、イノベーションを社会実装する
- 1-3 特区や規制緩和を積極的に活用・提案する



① ユーザー視点の実証実験「街ぐるみのみらい体験」

就業者、居住者など、街に集う人々が、未体験のプロダクトやアプリケーションを通じて、テクノロジーの進化によるみらいを体感するとともに、街の活性化、課題解決、そして人

間中心の未来社会の実現に向けて、イノベーションの実装に向けたユーザーとシーズ側との議論の場を構築します。

② 新たなアイデアをいち早く検証!「β版フィードバック・サポーター」

製品・サービスの初期アイデア、モックアップに対し、早い段階で意見やフィードバックを得る機会を提供するため、β

版等に対するフィードバックコメントあるいはインタビューに協力しても良いとするサポーター群を形成します。

③ 未来の街をつくる「スマートな街・5Gユースケース創出プロジェクト」

5Gを活用した将来のユースケース、スマートな街づくりを考え、試し、体験する環境を構築します。5G活用に関する

勉強会や交流会、生活者や来街者を対象としたデモンストラレーションなどを実施します。





「変化への挑戦者」を徹底的に応援する街になる 挑戦者応援都市

横浜は新しい挑戦者が集い常に発展してきた都市です。夢に挑戦する人をいつも応援し、創造的な子どもたちを育てやすい街でありたい。YOXO（よくぞ）という褒め言葉の名前にもその思いを込めています。サンフランシスコやベルリンなど、創造都市は同時にベンチャーやスタートアップの聖地でもあります。横浜だからこそできる創造的経済の都市像を目指します。

FUTURE IDEA

- 2-1 創造的な人材の成長を街ぐるみでサポートする
- 2-2 新しい価値を作りたい人の創造性を引き出す
- 2-3 働き方、発信、投資など挑戦者の環境を応援する



4 新事業のタネ、知識・社会を学ぶ「街ごとキャンパス構想」

企業、大学、行政機関等それぞれが行っている新事業創出につながる講座、プログラム、セミナー等について、エリアで一元化し情報発信するとともに、それぞれの活動のねら

いや特徴を関係者間で相互共有。知見や情報を得たいイノベーション人材がストレスなく適した場につながる枠組みを目指します。

5 ハードテックを民主化する「誰でもテックハブ」

企業、大学等有する3Dプリンタ等の試作機器・設備のリスト・利用サポート情報を一元化。機器・設備で不足する工程は、試作に協力的なものづくり企業等のサポートも

受けられる体制を構築。大学教員やシステム・エンジニアなどのソフト人材も、ハード領域でトライできる環境を構築します。

6 クリエイティブなビジネス環境を可視化 「スタートアップ・オフィスエリア・プロモーション」

再開発が進んでいく関内や横浜駅周辺など、海や歴史が感じられ、飲食店もあり、職住近接、さらには街ぐるみでスタートアップを応援するような独自のビジネスエリアを、

国内外のスタートアップにアピールします。さらに「次代を担うこどもイノベーターの育成」を街ぐるみで進めていきます。

7 技術シーズのポテンシャルを探る「基礎技術の新ビジネスへの応用支援」

大学や企業における研究成果、技術シーズなどをもとに、新たな製品・サービス開発の可能性を可視化し、ビジネス

化に踏み出せるプロセスを生み出し、持続可能な支援体制を構築していきます。



業種・領域・国境などを「越境」しやすい街になる 領域越境都市

様々な産業の日本発祥の地であり、スタートアップやクリエイターが集まる関内エリア、グローバル企業のR&D拠点が集積するみなとみらいエリアを始め、横浜という街全体に多様な才能が集まっています。大企業・スタートアップ・クリエイター・教育機関、公共などの人材が、地域から海外まで、領域を超えてクロスオーバーする都市をつくります。

FUTURE IDEA

- 3-1 業種や文・理などの領域の越境機会を提供する
- 3-2 業種・領域を超えた情報共有や共創を推進する
- 3-3 国内外都市や海外ともシームレスにつながる



⑧ 新結合・化学反応をおこす「イノベーション人材のコーディネート・交流」

地域～海外のニーズとシーズ、アカデミアと企業等、異なるバックボーンのエノベーター同士をつなげ、コラボによるイノベーション創出のきっかけを構築します。少人数のディ

スカッション・グループ活動のコーディネートから、街ぐるみのイノベーションイベント(横浜版SXSW)まで、多様な場づくりを進めます。

⑨ 新価値創造を目指す「R&Dからの新規事業開拓」

企業のオープンイノベーション活動をより実効的なものにしていくため、研究開発拠点(R&D)のマネジメント・クラスから若手スタッフとの連携・相談体制を整えることも

に、アクセラレーションプログラムの試行実施など、社内アセットや課題から事業化を進める仕組みづくりを後押しします。

⑩ 世界のイノベーターと接続する「グローバル・イノベーション・サポーター」

企業の海外拠点、外資系企業、行政、公的機関、イノベーション支援の専門機関、さらには横浜に数多くある貿易会社など、海外イノベーション・エコシステムのキーパーソンとつながる人材が数多くいる横浜。海外との「リバース

イノベーション」に向けた橋渡しや、海外の起業家人材の受け入れなど、海外イノベーション人材の情報バンクを形成します。

